



MMWIN[®]みんなのみやぎネット[®]

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために
Vol. 99

薬薬連携ツールとその運用について ～施設様の声～

2022年8月より、希望する保険薬局においてトレーシングレポート作成支援ツール（通称 薬薬連携ツール）の導入が始まりました。東北大学病院ではMMWINの加入施設を対象に、従来のトレーシングレポートの送信方法（FAX／郵送）に代わりMMWINのメール機能を利用した電子授受を開始されています。これにあたり薬薬連携ツールを導入された、青葉の杜薬局 東北大病院前店 管理薬剤師の森下 敦彦様にお話を伺いました。





森下 敦彦 様

【導入に至る経緯を教えてください】

薬薬連携ツールとMMWINの連携についての説明を受けた際に、「一番に個人情報漏洩を防ぐ目的である」というお話をお聞きしたので、当薬局でも電子的にやり取りができるようにしたいということで導入を決めました。

【薬薬連携ツール導入後の利用状況は】

最初の頃は、スタッフによっては抵抗感を持っていた人もいたのですが、月に1～2件分しかツールを使っていませんでしたが、導入後2か月半経過した現在では、スタッフ全員が問題なく使っています。現在は、ほぼすべてのトレーシングレポートに薬薬連携ツールを使って作成しており、MMWINメールで報告するという流れができています。

【薬薬連携ツールを使ってみていかがですか】

今までもパソコンを使ってレポートを作成していましたが、一度印刷してから手書きをしていた部分がありました。このツールには定型文なども入っているので手書きをする部分がなくなり、入力が簡単になりました。主に、抗がん剤副作用や残薬に関する報告が多いです。

【MMWINメール機能を使ってみた感想は】

メール機能は特に問題なく使っています。当薬局では、管理者がレポートをまとめてメールしています。今までのFAX送信に比べると、個人情報漏洩について何も気にする必要がないので、その点については精神的にも楽になりました。

【今後改善していきたいことなどありますか】

現在、薬薬連携ツールとMMWINメールを使えるパソコンは、薬局内に1台のみです。その1台を複数のスタッフで共有しているので、それぞれ好きなタイミングで使えないこともあります。もし薬局内にある他のパソコンも利用できるのもっと効率が良くなるのではと感じています。何か改善できるような提案をMMWINにお願いできたらと思っています。



トレーシングレポート作成画面

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)

【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp

『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。

